

安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名 : 1,3-ジアリルイミダゾリウムテトラフルオロボラート
 会社名 : 関東化学株式会社
 住 所 : 〒103-0022 東京都中央区日本橋室町2-2-1
 担当部門 : 試薬事業本部 企画管理部 資料課
 電話番号 : 0120-260-489
 F A X 番号 : (03)3241-1047
 メールアドレス : BC32@gms.kanto.co.jp
 整理番号 : 11476

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性

引火性液体 : 区分外
 自然発火性液体 : 区分外
 自己発熱性化学品 : 区分外
 水反応可燃性化学品 : 区分外
 酸化性液体 : 区分外

健康に対する有害性

皮膚腐食性・刺激性 : 区分1 A
 眼に対する重篤な損傷・眼刺激性 : 区分1

絵表示またはシンボル



注意喚起語 : 危険
 危険有害性情報 : 重篤な皮膚の薬傷・眼の損傷
 重篤な眼の損傷

注意書き

安全対策 : 粉じんやミストを吸入しない。
 適切な保護手袋、保護眼鏡、保護衣、保護面、保護マスクなどを着用する。
 使用後は保護具をよく洗う。
 救急処置 : 吸入した場合：新鮮な空気の場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。気分が悪いときは、医師の処置を受ける。
 飲み込んだ場合：口をすすぐ。無理に吐かせない。直ちに医師の処置を受ける。
 眼に入った場合：流水で数分間洗い流す。医師の処置を受ける。
 皮膚に付着した場合：汚染された衣類および付着物を取り除く。皮膚を流水で洗う。直ちに医師の処置を受ける。
 保管 : 施錠して保管する。
 廃棄 : 内容物や容器は関係法令に基づき適正に処理する。

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別	: 単一製品
化学名又は一般名	: 1,3-ジアリルイミダゾリウムテトラフルオロボラート
別 名	: テトラフルオロほう酸1,3-ジアリルイミダゾリウム
成分及び含有量	: 1,3-ジアリルイミダゾリウムテトラフルオロボラート 95%以上 ほう素として2.5%
化学特性（示性式）	: $\text{CH}_2\text{CHCH}_2\text{C}_3\text{H}_3\text{N}_2\text{CH}_2\text{CHCH}_2\text{BF}_4$
官報公示整理番号	
化審法	: 設定されていない
安衛法	: —
C A S No.	: 852699-06-0
危険有害成分	: 1,3-ジアリルイミダゾリウムテトラフルオロボラート

4. 応急措置

吸入した場合	: 直ちに新鮮な空気のある場所に移し、鼻をかませ、うがいをさせる。必要に応じて医師の処置を受ける。
皮膚に付着した場合	: 直ちに付着部を多量の水で十分に洗い流す。
目に入った場合	: 直ちに流水で15分以上洗い流し、眼科医の処置を受ける。
飲み込んだ場合	: 水で口の中を洗浄し、コップ1-2杯の水または牛乳を飲ませる。直ちに医師の処置を受ける。無理にはかせてはならない。

5. 火災時の措置

消火剤	: 水、粉末・二酸化炭素、乾燥砂、泡
使ってはならない消火剤	: 特になし
特定の消火方法	: 速やかに容器を安全な場所に移す。移動不可能な場合は、容器および周囲に散水して冷却する。
消火を行う者の保護	: 消火作業の際は、必ず保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置	: 作業の際は適切な保護具を着用し、漏洩した液が皮膚に付着したり、蒸気を吸入しないようにする。風上から作業し、風下の人を退避させる。
環境に対する注意事項	: 流出した製品が河川などに排出され、環境へ影響を起こさないように注意する。大量の水で希釈する場合は、汚染された排水が適切に処理されずに環境へ流出しないように注意する。
回収、中和	: 漏洩した液はけいそう土などに吸着させて、空容器に回収する。漏洩した場所は水酸化カルシウム、炭酸ナトリウムなどの水溶液を用いて処理し、多量の水を用いて洗い流す。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	
技術的対策	: 皮膚に付いたり、蒸気を吸入しないように適切な保護具を着用する。
注意事項	: 取扱いはできるだけ換気のよい場所で行う。
安全取扱い注意事項	: 酸化剤と接触させない。
保管	
適切な保管条件	: 容器は密栓して冷暗所に保管する。
安全な容器包装材料	: ガラス、ポリエチレン、ポリプロピレンなど

8. 暴露防止及び保護措置

設備対策 : 取扱いについては、できるだけ密閉された装置、機器または局所排気装置を使用する。

管理濃度 : 設定されていない

許容濃度

日本産業衛生学会（2009年度版）

: 設定されていない

ACGIH（2009年度版）

: 設定されていない

保護具

呼吸器用の保護具 : 必要に応じて防毒マスクを着用する

手の保護具 : 不浸透性保護手袋

眼の保護具 : ゴーグル型保護眼鏡

9. 物理的及び化学的性質

形状 : 液体

色 : 黄色

臭い : わずかな特異臭

沸点 : データなし

融点 : データなし

引火点 : データなし

密度 : データなし

溶解性

溶媒に対する溶解性 : 水 ; 可溶

有機溶媒 ; アセトン、クロロホルム、ジエチルエーテル、ジクロロメタン、ヘキサンに難溶

10. 安定性及び反応性

安定性 : 通常条件下で安定である。

反応性 : 酸化剤と接触すると反応することがある。

避けるべき条件 : 日光、熱

危険有害な分解生成物 : 一酸化炭素、窒素酸化物、ふっ素、ふっ化水素

11. 有害性情報

急性毒性 : 経口：データ不足のため分類できない

経皮：データ不足のため分類できない

吸入（蒸気）：データ不足のため分類できない

吸入（粉塵・ミスト）：データ不足のため分類できない

皮膚腐食性・刺激性 : 重篤な皮膚の薬傷・眼の損傷(区分1A)

皮膚を重度に刺激するので、区分1Aとした。

眼に対する重篤な損傷・刺激性

: 重篤な眼の損傷(区分1)

眼を重度に刺激するので、区分1とした。

呼吸器感作性又は皮膚感作性

: 呼吸器感作性：データ不足のため分類できない

皮膚感作性：データ不足のため分類できない

生殖細胞変異原性：データ不足のため分類できない

発がん性：データ不足のため分類できない

生殖毒性：データ不足のため分類できない

特定標的臓器・全身毒性－単回暴露

：データ不足のため分類できない

特定標的臓器・全身毒性－反復暴露

：データ不足のため分類できない

吸引性呼吸器有害性：データ不足のため分類できない

12. 環境影響情報

生態毒性

魚毒性

：水生毒性（急性）：データ不足のため分類できない

水生毒性（慢性）：データ不足のため分類できない

残留性／分解性：データなし

生態蓄積性：データなし

土壤中の移動性：データなし

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物

：多量の塩化カルシウム水溶液に攪拌しながら少量ずつ加え、数時間加熱攪拌する。ときどき水酸化カルシウム水溶液を加えて中和し、もはや溶液が酸性を示さなくなるまで加熱し、沈殿ろ過して埋立処分する。ろ液は多量の水で希釈して処理する。

または、都道府県知事の許可を得た廃棄物処理業者に委託処理をする。

<備考>

：中和時のpHは8.5以上とする。これ以下では沈殿が完全には生成しない。

テトラフルオロほう酸イオンの分解には長時間の加熱が必要である。分解を検定法(イオン電極法)で確認することが望ましい。

容器

：空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去した後に処分する。

14. 輸送上の注意

国内規制

道路法

：施行令第19条の13（通行制限物質）

国連分類

：分類基準に該当しない

輸送の特定の安全対策及び条件

：輸送に際しては直射日光を避け、容器の漏れのないことを確かめ、落下、転倒、損傷がないように積み込み荷くずれの防止を確実に行う。

15. 適用法令

化学物質管理促進法

：第1種指定化学物質（政令第405号）

毒物及び劇物取締法

：劇物

労働安全衛生法

：非該当

水質汚濁防止法

：施行令第2条有害物質

土壤汚染対策法

：施行令第1条特定有害物質

16. その他の情報

引用文献

化学物質の危険・有害物便覧、厚生労働省安全衛生部監修 中央労働災害防止協会 (2000-2001)

Dangerous Properties of Industrial Materials, 6th ed. N. I. Sax他編
Van Nostrand Reinhold Company (1984)

危険物ハンドブック、ギュンター・ホンメル編 シュプリンガー・フェアラーク東京 (1991)

15710の化学商品、化学工業日報社 (2010)

毒劇物基準関係通知集改訂増補版 毒物劇物関係法令研究会監修 薬務公報社 (2000)

*この安全データシートは、各種の文献などに基づいて作成していますが、必ずしもすべての情報を網羅しているものではありませんので、取り扱いには充分注意して下さい。なお、注意事項は通常の取扱いを対象としたものであり、特殊な取り扱いをする場合には、その用途・用法に適した安全対策を実施して下さい。また、含有量、物理／化学的性質、危険有害性などの記載内容は、情報提供であり、いかなる保証をなすものではありません。この安全データシート(SDS)は、JIS Z7253に基づいて作成しており、JIS Z7250:2010に基づいて作成した製品安全データシート(MSDS)と記載事項は同一です。